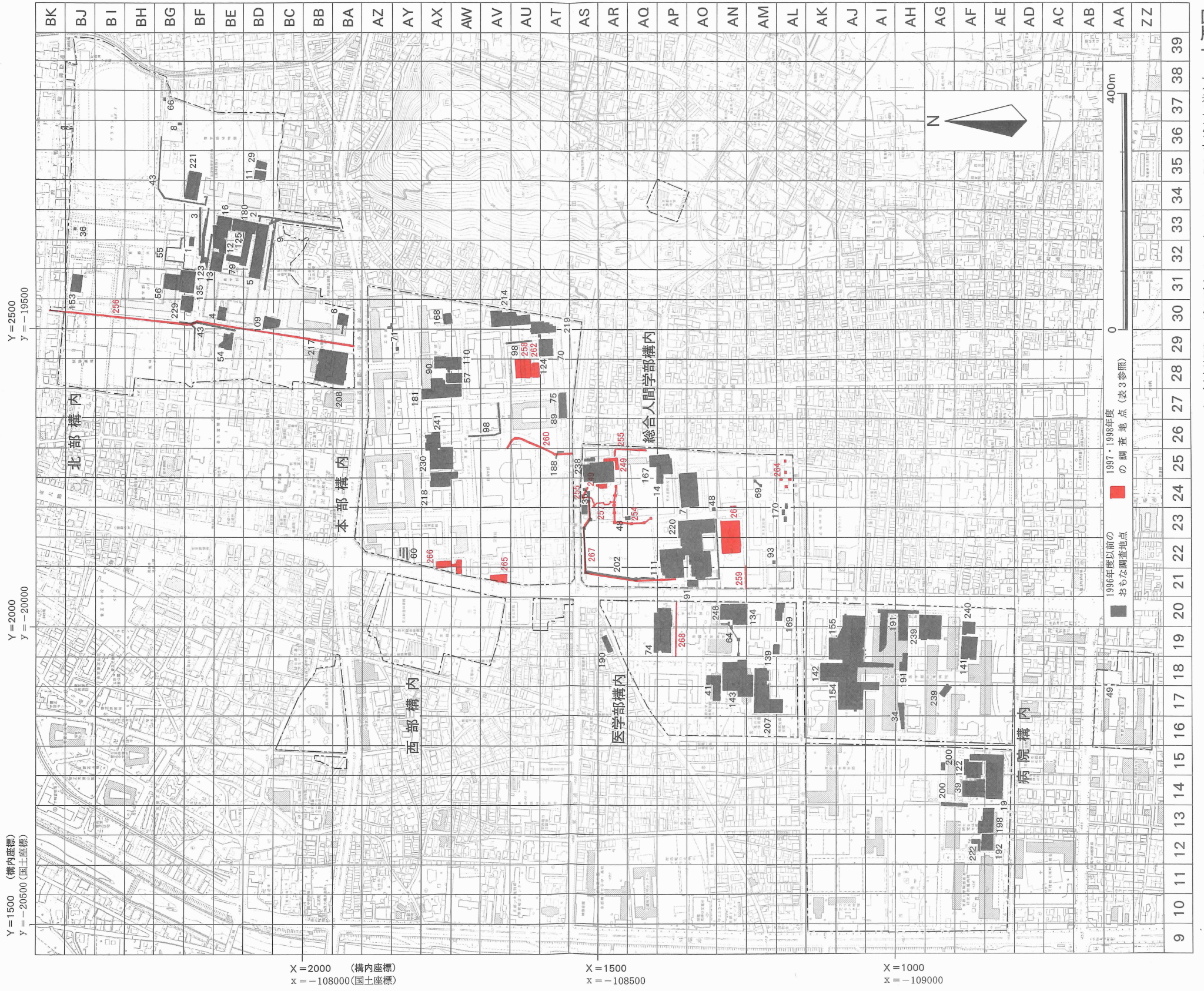


京都大学構内遺跡調査研究年報 1997・1998年度

目 版

- 1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点
- 2～6 京都大学総合人間学部構内 AR24 区の発掘調査
- 7 京都大学本部構内 AU28 区の発掘調査
- 8・9 京都大学総合人間学部構内の立合調査
- 10 京都大学構内遺跡におけるプラント・オパール分析 I



Y = 1500 (構内座標)
y = -20500 (国土座標)

Y = 2000
y = -20000

Y = 2500
y = -19500

X = 2000 (構内座標)
x = -108000 (国土座標)

X = 1500
x = -108500

X = 1000
x = -109000

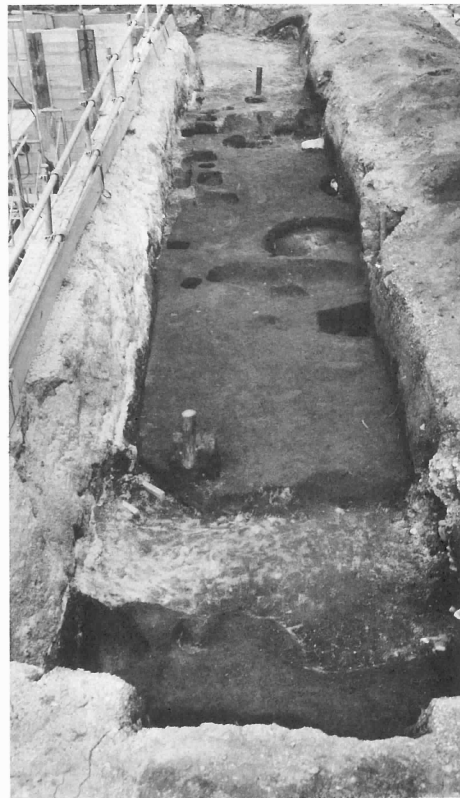
1996年度以前の
おもな調査地点

1997・1998年度
の調査地点 (表3参照)

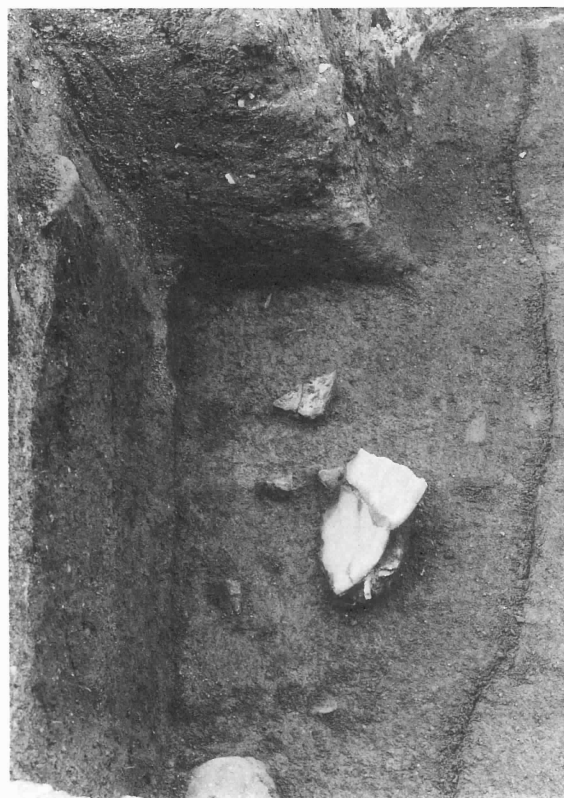
図版一 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点



1 東調査区東部完掘後全景（南から）



2 東調査区南部完掘後全景（西から）



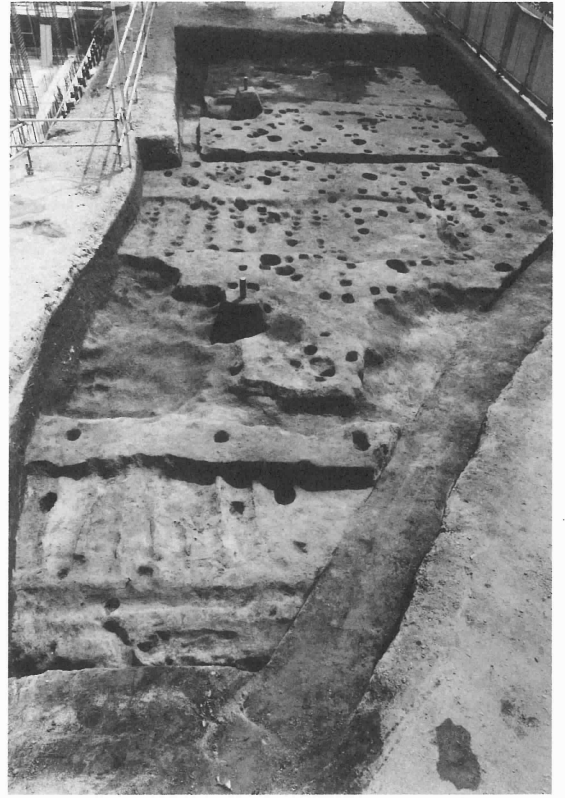
3 土坑S K 8上面遺物出土状況（南から）



4 土坑S K 8下層遺物出土状況（南から）



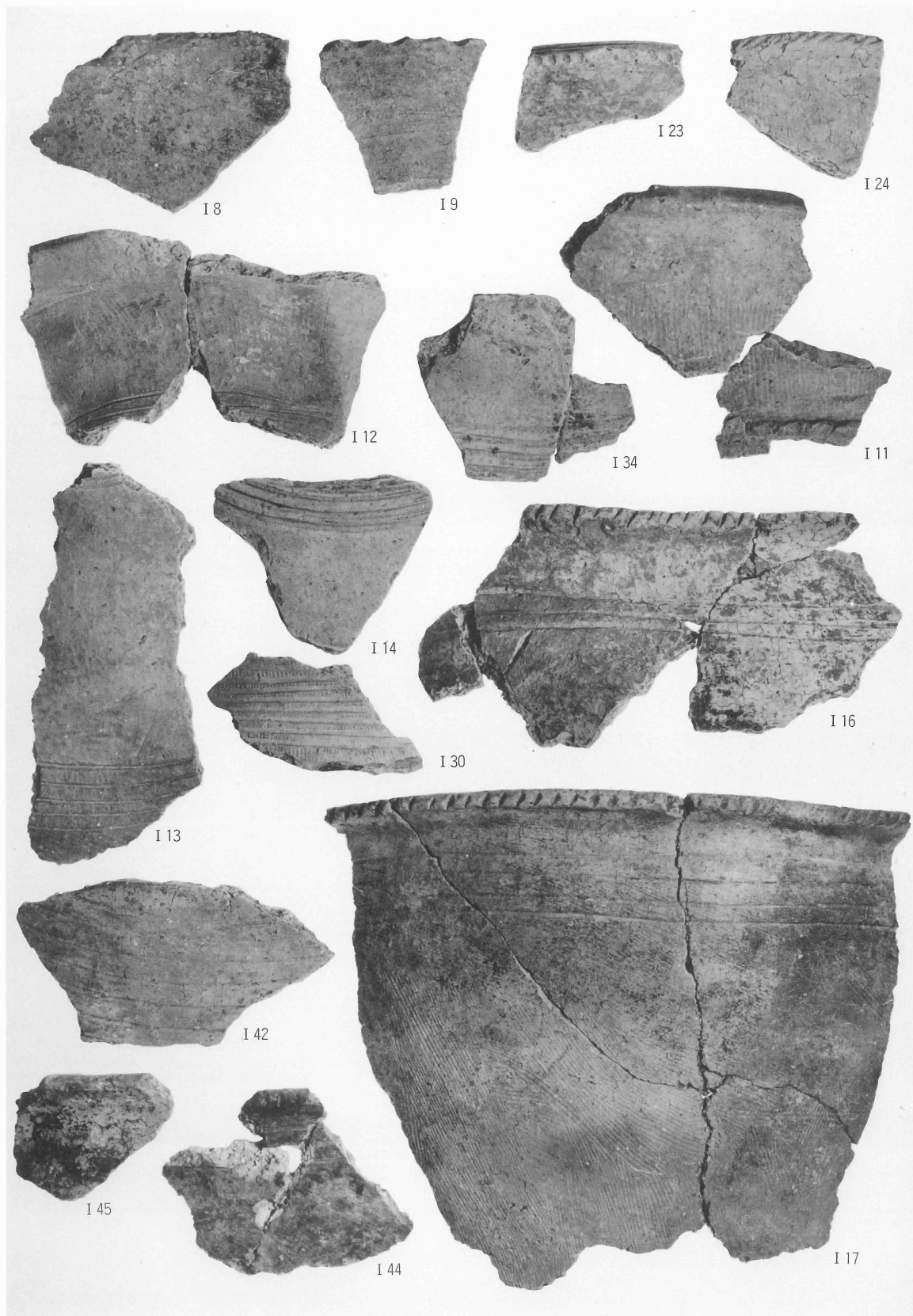
1 西調査区近世遺構（北から）



2 西調査区古代・中世遺構（北から）



3 集石土坑S X 1（北から）



縄文・弥生時代の遺物 (I 8・I 9縄文土器, I 11~I 14・I 16・I 17・I 23・I 24・I 30・I 42・I 44・I 45弥生土器)



I 105



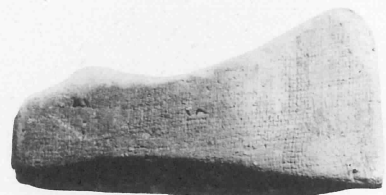
I 117



I 101



I 124



I 108



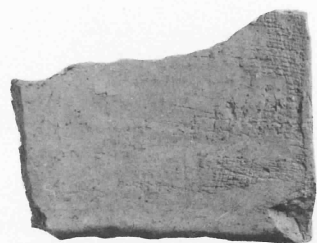
I 104



I 123



I 115



I 120



I 120

古代・中世の軒瓦 (I 86SK11, I 97SK7, I 101SD7, I 104SD8, I 105・I 108SH1, I 115・I 117・I 120・I 123・I 124SX1)



7. 開元通寶



10. 貞元重寶



11. 太平通寶



12. 至道元寶



14. 咸平元寶



20. 景德元寶



24. 祥符元寶



28. 天禧通寶



31. 天聖元寶



37. 天聖元寶



39. 景祐元寶



40. 景祐元寶



48. 皇宋通寶



50. 皇宋通寶



54. 嘉祐通寶



57. 治平元寶



66. 熙寧元寶



69. 熙寧元寶



73. 元豐通寶



80. 元豐通寶



83. 元祐通寶



87. 元祐通寶



100. 紹聖元寶



101. 紹聖元寶



104. 元符通寶



105. 元符通寶



108. 聖宋元寶



109. 聖宋元寶



112. 政和通寶

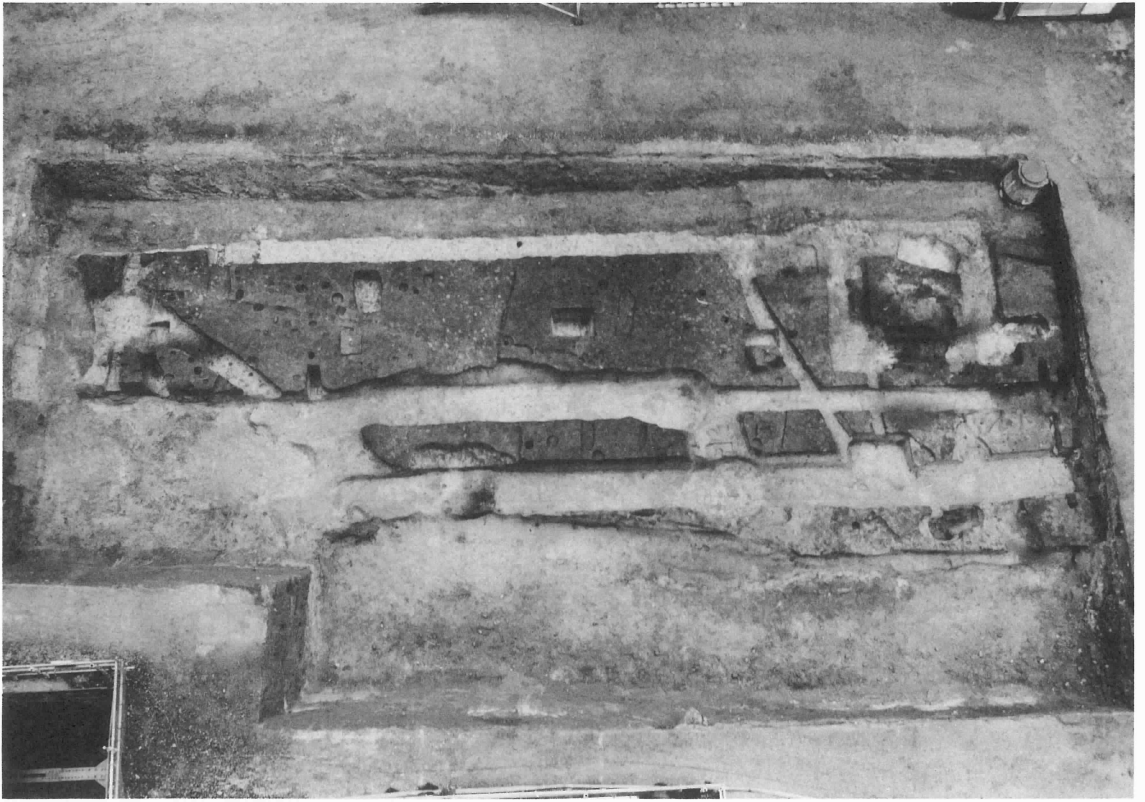


117. 慶元通寶



119. 淳祐元寶

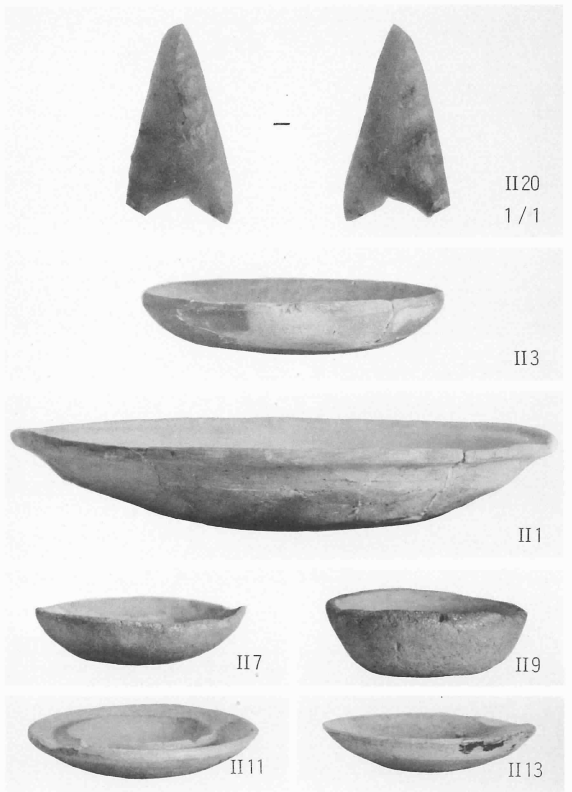




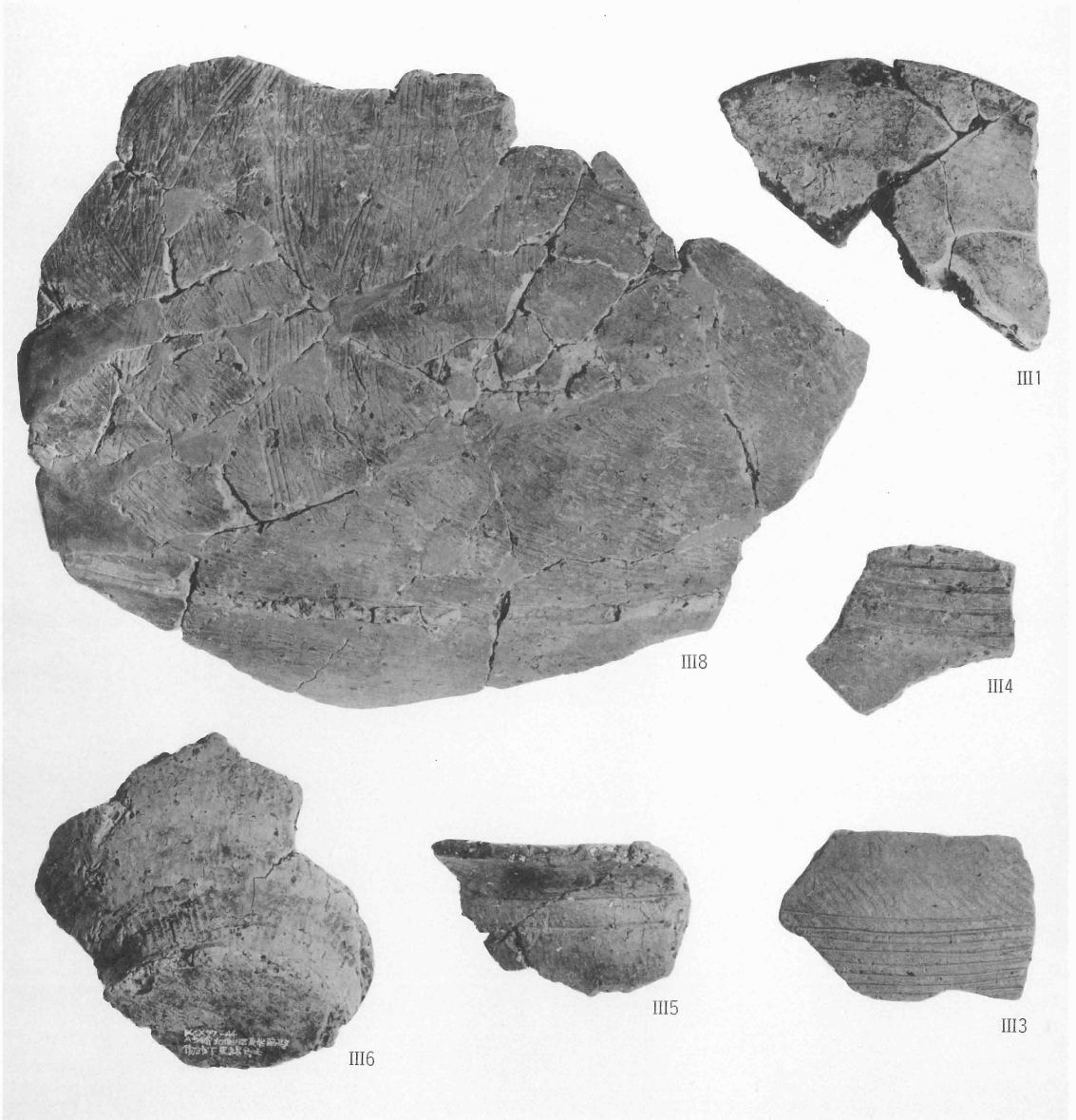
1 完掘後全景（北から）



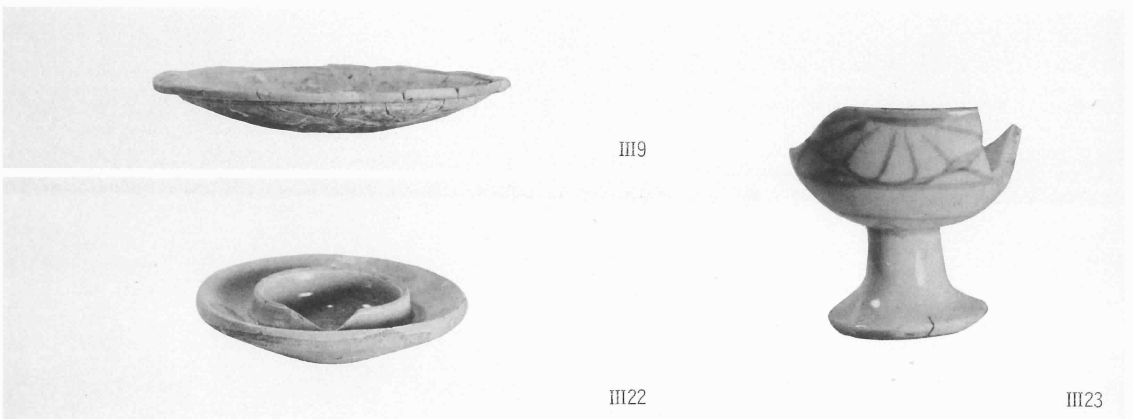
2 植物根茎痕とみられる斑点状痕跡（東から）



3 出土遺物（II1・II3・II7・II9土師器，II11・II13陶器，II20石鏃）



1 弥生時代の遺物 (III 1・III 3～III 6・III 8 弥生土器)



2 古代以降の遺物 (1) (III 9 土師器, III22 陶器, III23 染付)



III25



III27



III24



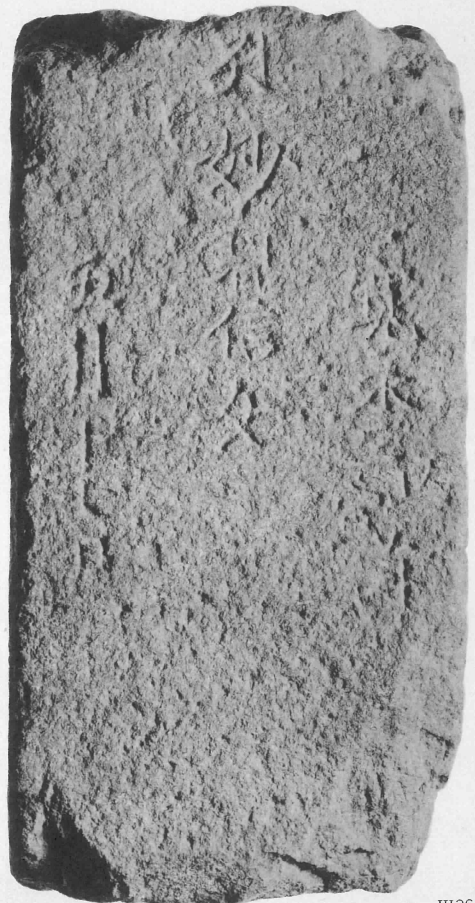
III31



III34

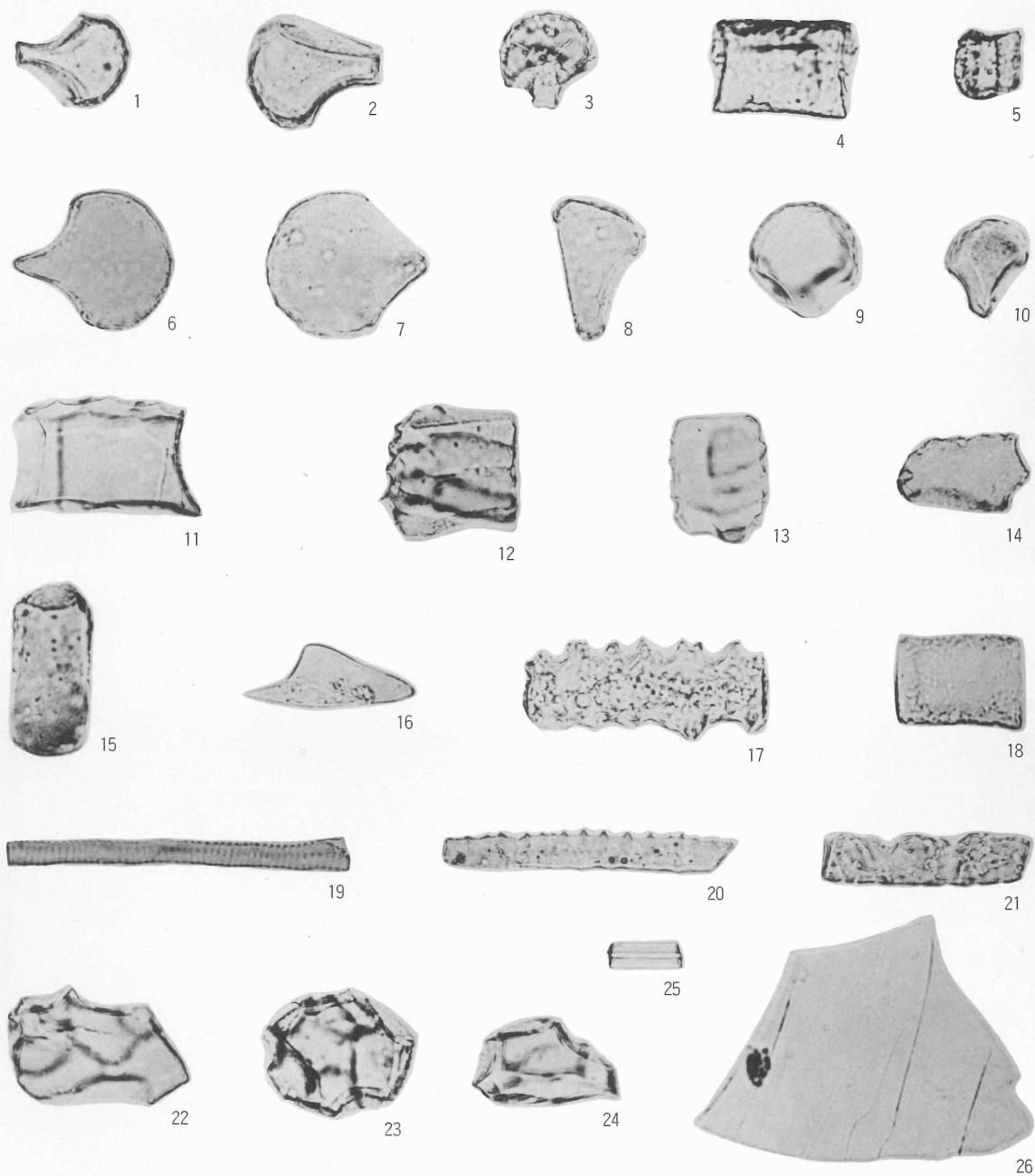


III30



III36

古代以降の遺物 (2) (III24・III25・III27軒丸瓦, III30・III31・III34軒平瓦, III36近世墓石)



1～5 イネ, 6・7 ヨシ属, 8 ウシクサ族, 9・10 サヤマカグサ属, 11 キビ族型, 12・13 ネザサ節型, 14 クマザサ属型, 15 機動細胞柱状, 16 刺状細胞, 17 鋸歯状細胞, 18 板状細胞A型, 19 棒状細胞丸状B型, 20 棒状細胞鋸歯状, 21 棒状細胞その他, 22～24 樹木起源亀甲状, 25 動物珪酸体, 26 火山ガラス (×100) (4・5・15・25・26 土器胎土, その他は地層より検出)